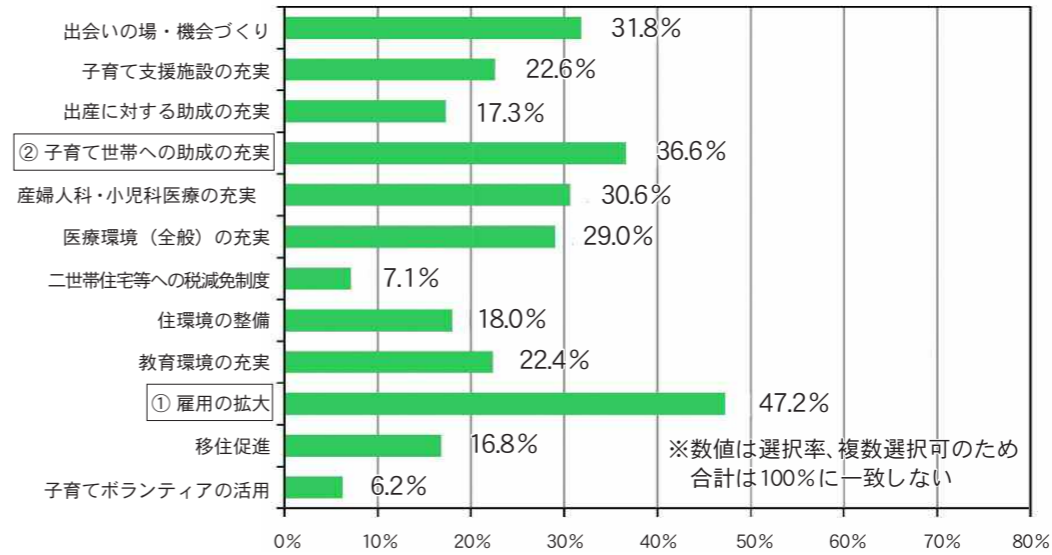


◆ 地域の活力維持に向けて取り組むべき施策

地域の活力維持に向けての取り組みべき施策として、「企業の誘致」が最も多く、次いで「農業・酪農の振興」、「町の農水産品を使った商品開発」の順で多く選択されました。

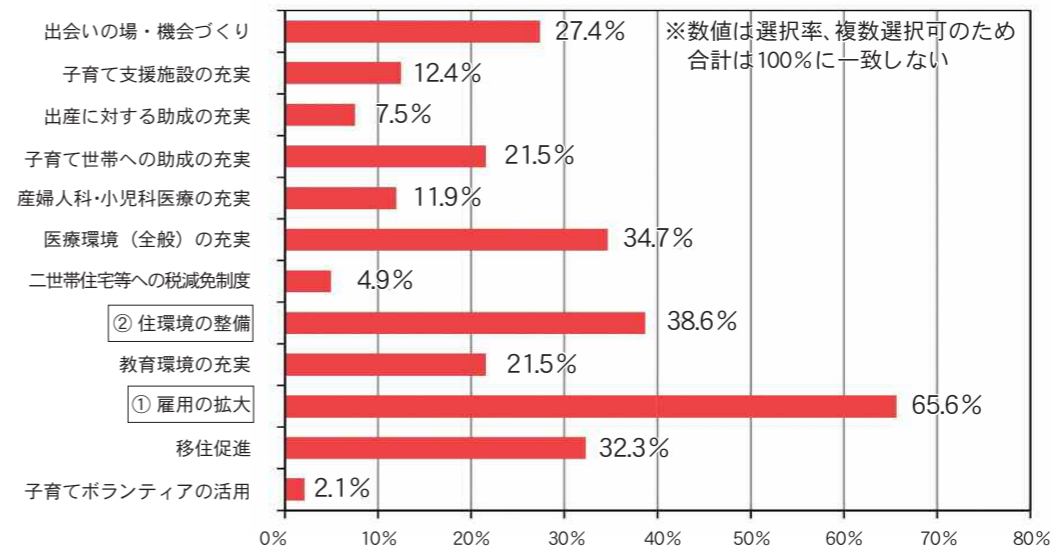
- 【町民からの施策アイデア】 (原文のまま)
- ・ 高齢者が安心して住める町づくり。
 - ・ 浜清水水の牡蠣やボラ、小清水牛などのブランド化。
 - ・ 農産物の二次、三次加工と積極的売込み。
 - ・ 道の駅にちょっとした宿泊施設を作る。
 - ・ よい観光資源があるので、もっと観光に力を入れる必要があると思います。
 - ・ 温泉湯を利用して一年中利用できる温泉プールの整備
 - ・ 宿泊施設を充実させて通過型観光からの脱却。
 - ・ 近隣市町村で開催されていない特色のあるイベントの開催。
 - ・ もっと若い人からアイデアを出してもらい、みんなで盛り上げられるような「ふるさとまつり」にしてほしい。
 - ・ メインストリームのイルミネーション化。
 - ・ 町民が町外へ出ていると吸収できる機会がほしい。
 - ・ 町のスポーツなどの団体活動の活性化。



◆ 自然増に向けて取り組むべき施策

自然増に向けての取り組みべき施策として、「雇用の拡大」が最も多く、次いで「子育て世帯への助成の充実」が多く選択されました。

- 【町民からの施策アイデア】 (原文のまま)
- ・ 妊婦健診を無償化にしてほしい。
 - ・ 直接的な金銭による助成だけでなく、子育てに関する包括的な支援。
 - ・ 町の活性化、若者の集いの場所が無くてかわいそう。
 - ・ 町内の空き家対策を行い、住宅を借りやすくする。
 - ・ 若者が結婚した際に住宅の援助をしてほしい。
 - ・ 子育ての際、近くに親類がいない夫婦のための支援。
 - ・ 保育所の受け入れ人数の拡大、対象者の条件緩和。
 - ・ 短時間から子どもを預けられるシステムづくり。
 - ・ 町内にはない習い事（フィギアスケートや歌、ダンス等）に参加や体験ができるシステムや援助。
 - ・ 若い人達の意見を聞いたり、工場など働く場所を作って長期滞在ができるようにする。
 - ・ 避妊だけでなく、不妊や卵子の老化などについての授業を実施。



◆ 社会増に向けて取り組むべき施策

社会増に向けて取り組むべき施策として、自然増と同様に「雇用の拡大」が最も多く、次いで「住環境の整備」、「医療環境（全般）」の充実」が多く選択されました。

- 【町民からの施策アイデア】 (原文のまま)
- ・ 町の魅力アップ。
 - ・ 学校以外の教育、習い事の拡充。
 - ・ 企業の誘致、雇用の拡大。
 - ・ 商業、娯楽施設の誘致。
 - ・ 小清水町から通いで町外に働く際のメリットがほしい。
 - ・ 市街地周辺で高齢者が住みやすい町づくり。
 - ・ 農業についてもっと意識を高めてほしい。
 - ・ 独身専用の安い町営住宅。
 - ・ 町内の空き家状況の管理と住宅のあっせん。
 - ・ 今の小清水小学校で山村留学をしてみてもいい？
 - ・ 観光産業の充実、整備。
 - ・ 子育て世代への配慮や高齢者が余生を過ごせる町づくり。
 - ・ 産業の分散化。
 - ・ 医療、福祉の充実をアピールする。

◆ 児童が小清水町に欲しいもの、生徒が日頃感じていること

小中高生を対象としたアンケートでは、「小清水町に欲しいもの」、「日頃感じていること」について質問しました。

- 【原文のまま】
- 小学生（小清水町に欲しいもの）
 - ・ もっとあいさつがあるといい。
 - ・ こどものお祭り。
 - ・ 自然のなかで木の实など使って遊ぶ行事をしてみたい。
 - ・ もっと広い公園がほしい。
 - ・ 自然の中で遊べる遊具。
 - ・ スキー場のロープ塔をリフトにしてほしい。圧雪車がほしい。
 - ・ 動物園、映画館、ゲームセンターがあるといい。
 - 中学生（日頃感じていること）
 - ・ 子どもが遊べる店が少ない。
 - ・ 高校付近の砂利道をコンクリートにしてほしい。
 - ・ 木など陰になるところが多く、不審者情報が出た時は特に怖いです。
 - ・ 流行しているお店や公園、習い事の教室などを増やしてほしい。

- ・ 外にバスケットゴールを作ってもらいたい。
- ・ 小清水市街地の除雪をキレイにしてほしい。
- ・ 吹雪や地吹雪で吹き溜まりが発生しやすい場所に防雪柵を設置してほしい。
- ・ 道の駅の充実。 鉄路の重要性を訴えてほしい。
- ・ 小清水町は自然が豊かで住みやすい町だと思う。ただ、小中学生の数が年々減ってきて、自分たちの世代に比べて元気や積極性がないと感じるので、子どもたちが生き生きと楽しめる場所やイベントや企画が必要だと思う。
- ・ 学校教育のレベルを頑張ってもらってほしい。

先月号と今月号では、町民アンケートの結果について掲載してきました。来月号以降、「まち・ひと・しごと・創生総合戦略推進会議」の進捗状況を掲載していきます。

【お問い合わせ先】
企画財政課企画財政係

☎ (62) 4471